2018 年度 第 3 回 理事会議事録

日　時：2019 年 2 月 14 日（木）10:30～17:00
場　所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2 号館 401

Ⅰ．　開会　司会進行：大代専務

Ⅱ．　会長挨拶：ご出席誠にありがとうございます。洗骨の映画を鑑賞しました。沖縄の風葬した遺体の埋葬方法です。バラバラになった家族が風葬、洗骨により一つになるとうい内容。死者を弔うということは残された人が生きる苦しみを少し和らげ、生きる喜びを思い出させてくれることと受け止めました。映画の最後に「骨を洗うということは〇〇を洗うだというメッセージでした、先祖は〇〇だ」と締めくくられるが、是非、映画を鑑賞し、ご自身で〇〇を確かめてください。

Ⅲ．　議事

1. 議長選出：瀬川副会長　議事録作成人：事務局（川本恭央）
2. 定足数の確認：理事出席 62 名（80 名中）有効委任状 71 名　監事出席 3 名（4 名中）顧問 1 名
事務局 3 名　合計　69 名
3. 議事録署名人の指名：正副会長より森田氏及び監事より望月氏を指名
4. 資料及び議題の確認・新議題の採択
新議題　吉野氏より
前回議事録の確認（メール配信済み）
資料　事前配達資料 1 部・改葬・改修ネットワーク 1 部・国産銘石カタログ 1 部・墓石公正規約 1 部
あじストーンフェア 1 部・祈りの日記念法要 1 部　申込書 1 部　はがき 1 部・母の日参り 1 部
5. ＜会議の進め方＞
チェックイン：石材業経験年数と名前・どこから何時間かけて・最近あった素晴らしい体験・今日の理事会への期待を各自記入し、テーブルで共有
議長：午前‥審議→報告・周知　　午後…協議（次年度計画と予算）で進行する。

【審議事項】

（1）入退会について　入会　4 名　退会 5 名　　大代　資料 入 P1　退 P6

大代氏より資料を元に説明あり

入会：４名　東京都　㈱エイト　／　榎本氏　会員の方からの紹介です。
東京都　ＭＫストーン　／　榎本氏　私の知り合いで墓石クリーニングを起業。
広島県　リミット通販㈱　／　藤井氏　作業服の企画をしている会社。
長崎県　くちのつ石材店　／　金子氏　当社で修業された黒川氏より引き継ぎ、再入会となる。

審議　反対０　白票０　賛成全員

退会：　５名　専務より会費納入済の説明。

（2）【総会】第 10 回定時総会　（2019 年 6 月 21 日（金）静岡市）　　大代・加藤　資料Ｐ10

大代氏・加藤氏より資料を元に説明あり

大代：予算と内容の審議していただきたい。前回との予算差７０万円は諸謝金支出にあります。嘉門氏についてプレスリリースすると周知されるのではとの正副の意見。第１０回であるのでにぎやかに開催したい。

加藤：実行委員長を務めます。森下氏の講演と嘉門氏にはパネルディスカッション、祝賀会に加予定。参加予定者は挙手をお願いします。（８割参加予定）

水野：月に１回実行委員会を開催。お待ちしています。

審議　反対０　白票０　賛成全員

（3）【広報】２０１８墓参り訴求プロジェクト（母の日参り・秋分の日）　　吉野　資料 P14

吉野氏より資料を元に説明あり

吉野：一般消費者へ啓発活動です。会員、協会以外に賛同配布。茨城県支部では２時間で１０カ所に配布をさせていただいたほか、県に依頼し学校へも貼ってもらった。次年度は事例を紹介したいです。会員全員で取り組みたい。

審議　反対０　白票０　賛成全員

2018 年度 第 3 回 理事会議事録

【協議事項】

(1)【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について　大代　別紙

射場：会長所信を元に説明　お墓ばなれを結果でなく過程したい。このような働きかけにしたい。

大代：全体予算概況説明　赤字予算 12,060,500 円

＜収入＞会費は通年通り。お墓Ｄ、在庫の販売、補助金、アンケートの補助金。

＜支出＞お墓ディレクター１級２級も積立金から捻出、お墓の教科書改訂版 2020 年支出になります。

地区長　三上：2020 年 2 月札幌で全体会議開催予定、内容は今後協議。

米本：年３回支部長連絡会議を各県持ち回りで行っている。来年は 2 週目です。

小柴：支部の孤立化を防ぐため、支部長連絡会議、支部長への連絡重視。北関東信越・南関東の合同会議を水戸で開催。

天野：支部長会議開催を増やす。北関東信越・南関東の合同地区会議を盛り上げたい。

中川：現状、地区長と支部長が兼任。理事を受ける人がいないことが問題。

加藤：2019 年度の総会に向けた実行委員会に力を入れている。地区大会開催については総会終了後に支部長会議で検討。

大石：支部長連絡会議を年 3 回開催。和歌山支部設立に対して会員へ電話して問い合わせしている。支部設立に対しては同意しているが支部長を受ける方がいない、継続してかかわりたい。

藤井：11 月 22・23 日地区全体会議を広島で開催予定。被災地として災害前と後を考えられるようなテーマを検討。

笠井：広島開催の中四国大会への協力、参加。

玉田：11 月に鹿児島で全体会議開催予定。支部長会議開催。次回は沖縄で支部長会議開催。

議長：地区活動に関してテーブル協議。

竹ノ内：役割を決める　進行・タイムキパー・書記・発表者　５分

共有：１３班　以前より活発になっているが参加者が固定しているのと、活動・未活動地区の差を埋めるべきである。

４班　地区支部の温度差をどう解消するかが課題。県の組合との兼ね合いがあり参加が難しいなど。地区内では活動を伝えることが必要なので支部長連絡会議、支部会議は行う。

６班　地区でできることがない。地区会議だけでなく、支部会員が参加できるような地区の交流がほしい。北海道は 1 地区 1 支部が難しいので地域でわけてほしい。

部会　鶴田：合同六部会会議の意味と内容。産地証明書の実績が過去最低で石ばなれも原因です。石材の需要として、お墓が付加価値を一番付けられる。墓地と同様、墓石も非課税にするべき等の今後の石材業を話し合いたい。石材業の中の墓石も建築と同様のステータスにしたい。アドバイザー検定を 2 回開催。

大川：友常代役　石材加工講習会 2 開催。正副では受益者負担の意向ですが、参加費が高いと参加者少なくなる原因にもなるため、検討。

棚瀬：年 4 回部会会議を地方で開催。意見交換、懇親を予定。

佐野：年 4 回部会会議には基調講演を合わせ、登録料を徴収。改葬ネットワークをスタート。文化財調査検討。消費者意識調査、販促物販売を行う。相談室は毎年開催。

吉川：年 6 回定例部会は地方開催も予定。11 月 11 日日中交流会。

大塚：ストーンアシスト岩手開催予定。出張メシを本に出版予定。

鶴田・吉川：友常代役　産地証明書の取り扱いを 2 部会で検討。協会の収入になるが、雑な使用方法になっているので採石業者とも話し合い発行規定を調整したい。

議長：部会活動に関してテーブル協議

竹ノ内：役割を決める　変更可能　進行・タイムキパー・書記・発表者　７分

共有：１３班　部会活動の積極的なアナウンス。全国で開催してほしい。

３班　加工講習会の登録金が上がり参加者が減ったのですが当然かと思いますが、開催地の関係もあるのではないか。関連部会の発想がよい。墓石部会の事業では、施工に関する講習会開催要望。

１０班　消費者調査では、行政がしない調査をしてほしい。ネット検索すればでてくるような結果ではなく、消費者の生の声を知りたい。例えば樹木葬希望の方が最終的には墓石を購入した理由を聞き、石材店が販売トークで使えるような文句を事例として集めたものを作成してもらえたら良い。

委員　吉野：墓参り訴求プロジェクト「秋分の日」は 5 年を超えるのでモデルを変え他団体との調整も。石工男子はもっと露出したい。動画用いた広報“お墓参りはいいよね”東京ガスの動画作成者の協力を得てお墓版。

小野：検定運営では受検者を増やすために研修を行うなど、普及フォローを促す。1 級取得者への研修実施。17 回検定に向け、テキスト改訂版作成にとりかかる。

能島：ツールを会員へ再告知　会員外への販売の検討。石材カタログを販売スタート。

白木：会員向けに推進。設立準備会への全面協力。

井口：地区大会、支部会議に合わせに拡大を推進。推薦状を依頼したい。

長江：中村代役　交流事業を開催　跡取り娘支援を応援したい。支部長から女性の推薦。

竹ノ内：まとめたものを会員へ配布

上野：名称が変更、ＢtoＢ変更。ブースは出さずセミナー企画で協力。

議長：委員会活動に関してテーブル協議。

竹ノ内：役割を決める　進行・タイムキパー・書記・発表者　7 分

共有：１１班　ディレクター１級は難関なので何度もチャレンジできるよう検定費用を下げ、問題の質は下げない。会場を増やしてほしい。あととり娘取り組んでほしい。

８班　広報委員会の活動賛同します。参考動画は笑ったり泣けたりで家族をテーマにしており身近に感じた。お墓にも共通すること。お墓ばなれが進んでいてこれで良いのだろうか。お墓離れは日本だけの話ではないのかと感じます。メッセージを発信していただきたい。

１班　広報の動画にあう冊子も作成してほしい。効果があるものに予算を投じたらよい。３団体同様、公正競争規約でも協力関係が作れるとよい。あととり息子のプロジェクトもあるとよい。石工男子、CS 委員会の事業も３団体で共有してはどうか。

議長：テーブル討議の内容は各担当者へ投げかけます。

大代：1,200 万の赤字予算を上程するが毎年同じようであることが不思議である。例えば支部補助費 2,000 円の合計は、2,400,000 円です。支部の活動にも差がある。どうしたら赤字でない予算を組めるのか考えていただきたい。

議長：予算に関してテーブル協議。

竹ノ内：役割を決める　進行・タイムキパー・書記・発表者　10 分

共有：　２班　身の丈に合せるか身を延ばすのか、会の在り方からして大幅に転換しない限り変わらない。会長方針で１点集中させる方法もありではないか。支部の状況があるので本部が介入するべきでない。

５班　一律ではなく、活動ごとに支出するなど支部会費に差をつける。支部補助費だけでは赤字の 1/6 なので、抜本的に改革が必要。前年度は赤字予算でも最終は黒字となったのは結局事業を行っていないことになるので、事業の見直しができていないのではないか。

１２班　前年度使用しないところは削減する。支部のプール分を確認し多いところには補助せず、申請制にする。

大代：協議で計画を変更したいということがありましたら２月末までに提出をお願いします。

(2)【公正競争規約推進委員会】今後の進め方白木　　別紙（協議のポイント）

白木氏より資料を元に説明あり　動画をパワーポイント見ていただき再確認をしていただきたい。

白木：消費者庁　①消費者からのクレームが減るのか　②守れるルール　③業界の賛同は得れるのか
ルールの内容について検討していただきたい。

竹ノ内：役割を決める　進行・タイムキパー・書記・発表者　15 分

共有：＜記載項目＞　１班　保証書を単独に発行している場合は契約書に記載しない。記載は納期、施工場所のみ。加工先は国名だけでよい。

１０班　加工先名は不要。それ以外の項目は必要。その他、納期を記載し、それに伴い見積書の有効期限も設ける必要がある。消費者が相見積りをとることを考えると、加工仕様書をどこまで明記したらよいか。

＜展　　示＞　２班　石種だけを記載すればよい。加工先名まで消費者は求めていないのではないか。施工含めた金額のため、いらぬ憶測を持たせぬよう、価格を記載すべきでない。規格寸法で寸問題。

１１班　必要：商品名・サイズ・才数・産地名国名　　不必要：メーカー名（消費者がメーカーに問い合わせるのを防ぐ）

石種名は独自の命名はしない。仕様書はできるだけ細かく書いてあることで消費者の安心を

得られることもる。

＜国内定義＞　３班　現在７割は中国だが、国産や中国加工などをモラルとして記載。国内・中国の加工割合を定め、表示すればよい。

１２班　①国産　②やくものだけ海外　③外材を国内加工　④全て国産を海外で加工　どこで線引きするか。産地証明とは別に加工証明を添付すればわかりやすいのではないか。

＜表　　示＞　４班　加工先については必要ない。上もの国内、外柵中国など複雑。食品と違いそれほど必要ではない。卸業で重きを置く必要を感じる。

１３班　全て表示　消費者に隠すことはないという意見もあったが、住宅メーカーのように細かい外注工事の詳細を表示しなくてもよいという意見も。

＜施工使用＞　５班　記載、記載なしが店舗により分かれる。建築業界では仕様書は当たり前。石材業の最低限の統一ルールとして「基礎があるのか」「有筋」「接着剤か or セメント施工」と、「その他」欄を設け必要に応じ記載する。スタートから完璧にはムリであっても、最低限の表示は必要。施工により、金額も日数も変わるから。

＜保証書＞　６班　必要。地域により施工方法も違い、石種による性質も異なるため、統一ルールが難しい。産地証明は協会加盟店だけだが、加盟していない場合はどのように対応したらよいか。加工証明の意味がわからない。商社の協力がないと施工会社だけでは保証や証明ができない。トレイサビリティーは難しい。原石をたどるのには無理がある。

＜価格表示＞　７班　消費者の立場になったら、価格表示はするべき。表示項目は本体、施工費、彫刻費などの分け方を統一しておかないと煩雑になる。仕入れが変化するため、金額をたびたび書き換えなければならないか。

＜別　　表＞　８班　墓石の形状、商品名など、地域ごとにサイズが異なり、洋型でも最近が縦長もあり、デザイン墓石との分類が難しい。材料は外材の場合業者によって石種名が異なるので小売店としての表示は困難。天然のものなので写真を添付しても見本と異なることもある。

白木：支部総会で今回のような時間をつくっていただきたい。白木、射場、井口が訪問する。また、地区長、支部長のご協力をいただきたい。

【報告・周知・依頼事項】

(1)【2018 支部助成金】北海道支部　幸フクロウ２０１８事業報告　山本　資料Ｐ17

山本氏より資料を元に報告あり

山本：地元紙の取材を受けました。以前寄贈のメンテナンスも行いました。除幕式協会員７名　施設関係者５０名　幸フクロウ通信は支部会員へ配布。次年度も開催予定。

(2)【2019 支部助成金】新潟県支部 消費者向けセミナー（2019 年 4 月 12 日）　齋藤　資料Ｐ20

斎藤氏より資料を元に報告あり

斎藤：支部総会に合わせて会員および非会員・消費者を対象に講演会を開催。お墓は生きている方のためでもあることを啓発したい。今までは一部の会員で活動していたので全支部会員へ投げかけと非会員へも働きかけたい。パンフを配布しますので皆さんも参加していただきたい。長岡の地方紙に４回掲載、報告を新潟の新聞紙に掲載します。

(3)【墓石】改葬・改修ネットワーク登録状況　佐野　資料Ｐ25

佐野氏より資料を元に報告あり

佐野：登録状況を別紙で報告。石産協通信で募集、約１カ月で 59 社。登録後は協会のホームページに掲載予定、又、受注発注も検討していきます。登録ない都道府県はぜひお願いします。登録は fax でも web でも可能。

(4)【墓石】石の文化調査事業（千葉県東金市 市指定文化財の調査依頼について）　佐野　資料Ｐ26

佐野氏より資料を元に報告あり

佐野：慎重に進めていきたい。

(5)【墓石】長崎県庁からの問合せについて　佐野　資料Ｐ28

佐野氏より資料を元に報告あり

佐野：行政間での対応でお願いしたいと回答しました。

金子：２０年前以上から解体引き取りを行っている寺院。会社も住職が兼任していると思われます。

佐野：2/13 部会開催の報告　４８名の参加。樹木葬がどのように進んでいるか、データーを元に鎌倉新書から考察いただきました。

(6)【輸入】日中墓石交流会２０１８（2018 年 11 月 11 日）　吉川　資料Ｐ30

吉川氏より資料を元に報告あり

吉川：決算書はスクリーンを見ていただきます。年々参加数が減少ですので協会員以外も呼びかけました。呼びかけが１カ月前で遅く、参加者数が少なかった。次年度は検討して参加していただけるように開催したい

(7)【関連】ストーンアシスト in Tokyo 決算報告　（2018 年 10 月 23 日）　大塚　資料Ｐ32

大塚氏より資料を元に報告あり

大塚：３８２，００５円は会場設営の人件費が請求されなかったので次回のストーンアシストに繰り越します。セミナー登録料が３ちゃん対談の参加料。有料・無料にかかわらずセミナーの参加が多かった。次回は地方開催を検討。

(8)【広報】２０１９墓参り訴求プロジェクト（母の日参り）　吉野　資料Ｐ34

吉野氏より資料を元に報告あり

吉野：５月１２日母の日に向けて会員に貼っていただく。今年は再剥離、雨天対応のステッカーにしました。トラックの窓にも貼れます。石産協通信 3 月号に同封し会員へ２枚ずつ配布。追加希望は６００枚予備の中から先着で１０枚・１，０００円、送料実費で受付。日本香堂のプレスリリース発表は 4/23 ゲストは草刈正雄です。

上野：4/23 はお手紙コンクールの発表があります。昨年はマスコミが４０社で費用換算は約１億５千万。手紙コンクールは３００通で大成功と言われているが１８５０通だったので今年も期待が大きい。

(9)【公正】公正取引協議会設立準備会設立のための協賛金支出　白木　資料Ｐ40

白木氏より資料を元に報告あり

白木:協議会の口座を設立したので予算を実行します。同時に協賛金を募集し現在は２０企業／７０万円集まっています。墓石部会向けのアンケート集計報告　墓石部会９３３社中２４７社が回答

(10) ＊否決／埋・収蔵施設などの取得希望者将来推計（墓苑協会）　川本　資料 P46

川本氏より資料を元に報告あり

川本：第２回理事会で協議いただきましたが再度、正副で検討し見送りになりました。この資料は総合ユニコムから発売されます。７万円くらいですが協会で購入すれば宜しいと思います。

(11)【協賛依頼】あじストーンフェア賞発行依頼（2019 年 6 月 8 日～9 日）　大代　資料 P47

大代氏より資料を元に報告あり

(12)【協賛依頼】お墓 100 年プロジェクト　フォトコン協賛依頼　大代　資料 P48

大代氏より資料を元に報告あり

(13) 支部総会開催依頼　大代　資料 P51

大代氏より資料を元に報告あり

大代：第 13 条　4 月末までに開催していただきたい。5 月 8 日に会計監査にて支部決算の監査もしますが、内容によっては、支部の補助金 2,000 円支給にも影響があります。

(14) 年会費未納者について　大代　資料 P52

大代氏より資料を元に報告あり

大代：3 月末で自動退会となります。

(15) 2019 年度会議スケジュール決定　大代　資料 P53

大代氏より資料を元に報告あり

大代：２０２０年度はオリンピック開催

上野：メモリアルストーンショー　8 月 20 日 21 日 22 日に訂正。

(16) 2019 年度組織図について　大代・射場　資料 P84

大代氏・射場氏より資料を元に報告あり

射場：斎藤監事が体の具合で退任されます。今年度は役員改正でありませんが事情がある場合は申し出てください。

(17) 三団体協議会について　佐野　資料なし

佐野氏より資料を元に報告あり

佐野：お墓の啓発活動を協議会で進めています。検討事項①母の日参り検討の上見送り。それぞれで取り組む。②お墓参りの日　ロゴ無を３団体未会員へ配布　③政治連盟協力　④社会調査アンケートの内容の共有　⑤全優石写真コン

テストを応援　実務者で協議し、協議会で決議という形式で進めています。

（18）＜事務局から①＞2018 事業の振り返り（締切：3/1（金））地区長・部会長・委員長　　大代　メール済

大代氏より資料を元に報告あり

大代：3 月 1 日期限厳守でお願いします。

（19）　＜事務局から②＞2018 下半期理事交通費申請書提出のお願い　期日厳守　　大代　別紙

大代氏より資料を元に報告あり

大代：2 月末が締め切りですので提出をお願いします。

（20）広報委員会よりのお願い　　ＰＬＡＹfor（ＯＮＥ）祈りの日　　吉野　資料なし　上野　パンフ

吉野氏より資料を元に報告あり

吉野：毎月 14 日に LINE 発信していますのでお友達登録をお願いします。休憩中にＱＲ登録をお願いします。LINE スタンプも作成されました。

上野氏より資料を元に報告在り

上野：ＰＬＡＹ for（ＯＮＥ）で 3 月 27 日に祈りの日として活動しています。池上本門寺で開催、周囲の方へ配布して、記念法要は申込みください。情熱大陸が取材に入る予定です。合わせて書道の展覧会を開催します。

3 月 20 日 8：30～ラジオ大阪の会長出演　明日収録。

（21）国産銘石カタログ予約販売について　　能島　資料あり　パンフ

能島氏より資料を元に報告あり（つかみ見本）

能島：産地証明発行可能な石材カタログを作成中。４月中旬完成予定、本日事前申し込みを受け付けています。

＜感想＞

森田：事業計画では担当委員会の事業についてご理解いただきありがとうございます。

藪本：勉強になりました。

河田：予算の件で昨年は赤字予算でしたが今年は黒字になるのか心配。公正取引で業種が異なるのでまとまるのか。

戸高：公正競争規約は関心が高いが、難しく、委員会から来ていただけるなら支部でも時間を設け話し合いたい。

堀口：内容の濃い一日だった。公正競争規約は支部メンバーの意見も聞きたい。

岡谷：あじストーンフェアにお越しください。

阿部：部会、委員会勉強になり会員へ伝えなければいけないと自覚しました。

大曲：公正競争規約は細かくしない程度でスタートしてほしい。

前迫：公正競争規約は企業数、または売り上げ規模が問題になる。詰めていただきたい。

白木：小売９０００社／４５００社なので難しいか。しかし、売上規模では石文社の記事より、上位２００社プラス石産協会員でクリアーできると考えている。消費者庁からは必ずしも過半数でなくあてもよいがまずはクレームがなくなるのが第一であることと、１００％の賛成は得られないとしても業界のある程度が規約に対し賛同していることが条件。せっかく作成しても守れない規約では意味がない。

チェックアウト

竹ノ内：５分　終わっての感想を話してください

＜監事講評＞

望月：予算について、ディレクターの収入減のため、赤字予算が続いているが預金もあるのでもう少しは大丈夫です。公正競争規約ができると運営費にどれだけの支出になるか心配です。最低、事務経費は 15,000,000 円がかるでしょう。以前静岡県で見積書、契約書、現場工事写真、保証書などの作成をしている業者は、当時１９２件中で５社だけでした。協会の中で決まりは必要ですが、法律にして全員におしつけることで崩壊することが心配。予算と規制の部分は十分に検討していただきたい。消費者のクレームがあるのは会員以外の方です。公正競争規約ができてもクレームはなくならない。

伯井：昨年も赤字予算だったが黒字で終わりました。理事が理解したうえで進めていることが素晴らしい。議論としては前向きでした。

犬塚：予算を絞ることで活動を縛るのは避けたい。現実的な予算を出せばよいと思います。予算書の表示の仕方を考えてほしい。支部補助金の使い方を改善していきたい。公正競争規約のハードルは高いが、協会の中で試運転したほうがよい。形態においては樹木葬等も時間をかけるべき。支部総会で議論し、周知する必要がある。

＜顧問＞

戸部：ディレクター検定が増えるのは取得者が活かすことが最大のＰＲになるのではないかと考えます。産地証明の使われ方ですがフランスのワインの産地証明があり、これは法律で規定されています。協会で確認できるかが問題です

　が検討してほしい。
女性ネットワーク　長江：２つの目的があります、交流会と女性の頑張っている所に訪問したい。特にあととり娘の応援と勉強したい

訂正　次第　第 1 回理事会　5 月 19 日→16 日

閉会

2019 年 2 月 14 日

議事録署名人　：　森　田　　浩　介　　㊞

議事録署名人　：　望　月　　威　男　　㊞

議　　長　：　瀬　川　　賢　孝

議事録作成人　：　川　本　恭　央

	メンバー	第3回理事会 **協議（1）-4【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／赤字予算について**
1	射場、米本、佐野、榎本、天野展和	・収支を合わせるなら概算要求を出してそれに合わせればよい。 ・予算が決められていれば、その中でその年度に動くものを考えられるのでその考えも良い。 ・各部会、委員会を独立採算制にしてよいのでは。 ・改修ネットワークなどは成立したらマージンをもらってもよい。 ・支部補助費は使わないなら、なくてよい。 ・支部補助費はほしい。（たまっているお金は使いにくい） ・支部会費をもらっていればそれでよい。 ・やりたい支部が欲しい金額を要求すればよい。→支部助成金の活性化。
2	三上、柴田、川口、阿部	・事業の見直し（選択と集中が必要か）
3	小柴、能島、井口、竹ノ内、北原	・支部補助費を毎年使わない支部とは？ ・委員会の事業は個人負担にする。 ・毎年赤字予算でスタートは赤字決算だすと怒られるから、多めに予算化している。
4	中村、天野喜晴、兼子、小田、小松	・収入をいかに増やすか？（会費？） ・支出をもう少し現実的に算出すべき。 ・事業をしていない支部に補助金を出さない。 ・支部事業・総会は各支部で予算化すべき。 ・支部で活動していないとお金が余ってくる。活動に対する助成はOK。 ・部会・委員会は事業の選択を集中して活動のスリム化を図る。
5	＜採石・加工＞友常、鶴田、小野、斎藤、大川	・マイナス予算にメリハリをつける。 ・マイナス予算の場合、まず予算金額の大きい事業、贅沢予算から見直す。
6	森田、中川、山本、藪本、大曲	・会費を上げ、もっと補助を出す。→一部の人しか出られなくなる ・種別ごとの会費の差は妥当か？
7	＜関連・建築＞棚瀬、大塚、吉野、川本、寺田	・各部会・委員会含めコストを下げる。 ・先にマイナスにしない予算を提示して予算組み。 ・予算額内で会費upを図る。 ・支部補助費をなくす
8	福川、加藤、笹川、木村、田尻	・収入を増やすために国や都道府県の補助金を活用できないか。
9	水野、大石、山田、平山、安部	・支部会費、なにもしなければ余るが、事業をすると頼りない。
10	上野、藤井、西山、河田、前迫	・各事業は提案があったものは、やらせてあげたほうが良い。 ・事業のすべてを承認していいか、考える必要がある。 ・お墓Dの収支がプラスになるように。 ・絶対的収入の増加が必要だろう。 ・地区大会などの予算を隔年にするなど、改良は必要。 ・会員拡大を推進し収入アップ。 ・事業費に対する会からの補助を下げる。 ・非会員事業（後援、実演会、セミナー）は参加費をもっと上げ、収入を増やす。
11	金子、笠井、佐渡、堀口、伯井	・収入源である会費増。 ・年会費引き上げ。 ・交通費の負担。 ・お墓Dの収入を期待しすぎたか。 ・お墓D立て直し。
12	＜輸入＞吉川、谷合、岡谷、望月、犬塚	・前年度使わなかったところは削減。 ・稼げる部門もっと注力させる。 ・産地証明をもっと活用するよう、啓もうする。 ・予算なので実際のところ赤字決算にならなければいいのでは。 ・支部会費のプール分を確認して多いところには支出しない。 ・支部活動があるところのみ助成金を出す。申請制にする。

メンバー	**第3回理事会** **協議（1）-4【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／赤字予算について**
玉田、白木、戸高、高橋、寺岡	・前年度の実績をみて予算に反映させる。 ・決算が黒字なのだからよい。 ・難しい問題。 ・事業収入を増やす。

	メンバー	第3回理事会 **協議（1）-3【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／委員会**
1	射場、米本、佐野、榎本、天野展和	・広報／動画もいいが一緒に冊子も同じ素材で作ればよい。動画は著作権があるが会員が使いやすいものを作ってほしい。 ・面白そう、効果がありそうなものに予算を投じられるとよい。 ・公正競争規約でも同じように三団体で協力関係を作れるとよい。 ・跡取り娘だけではなく息子のプロジェクトも作ってほしい。 ・石工男子やCSの販促物を三団体でやってもよいのかな。
2	三上、柴田、川口、阿部	・CS／国産銘石カタログのデータ化、データ版の販売。 ・石種カタログのデータ化。
3	小柴、能島、井口、竹ノ内、北原	・石材業界は顧客満足に対以上に遅れている。呼んでもらえればCS委員会出張して説明する。集客セミナーが一番人気
4	中村、天野喜晴、兼子、小田、小松	・女性／がんばってほしい。ニーズはあるし、今後女性の後継者は増える。 ・広報／動画よいので、TVCMでも流してほしい（予算を拡大してでも） ・広報／知名度低いのでブランディングどうするべきか、いかに一般消費者へひろめていくか。 ・委員会の運営大変だと思う。 ・お墓Dを国家資格に格上げできないか。 ・お墓Dの資格価値向上、知名度アップ。
5	＜採石・加工＞友常、鶴田、小野、斎藤、大川	・女性／跡取り娘は会員拡大につながる。 ・お墓D／受検数を維持できた理由は2級対策、前広（前もった告知）のアナウンス、SNSでの広報、HP上での申し込みなど。 ・会員拡大／部会、委員会、支部全てが共有して取り組むべき。
6	森田、中川、山本、藪本、大曲	・外向けの事業が少ない（ex.一般向けお墓D検定）もとお外へ目立つべき。 ・委員会がなにをやっているか支部ではわからない（支部長から聞かない） ・広報／動画楽しみ。 ・お墓D／受検者数が減って困る。
7	＜関連・建築＞棚瀬、大塚、吉野、川本、寺田	・広報／女性にフォーカス、動画素晴らしい。動画の制作費。動画制作→FB広告（10万人/3か月） ・お墓D／建築アドバイザーも同じように。 ・一般消費者へのPR。 ・委員会から行政へのPR。
8	福川、加藤、笹川、木村、田尻	・広報／社会とメッセージ動画＝家族。お墓をアピール。 ・広報／母の日ステッカーgood。
9	水野、大石、山田、平山、安部	・広報／泣けるビデオ良かった。 ・会員拡大／地区長・支部長もメンバーになるべき？ ・お墓D／資格証を出しながらお客様と話すこともないが・・・。
10	上野、藤井、西山、河田、前迫	・広報／動画制作とてもよい。公開後、事業所のHPにリンクできるようになるのか？方向性はとても良い。 ・広報・お墓D／パラパラ漫画のような冊子でお墓の啓発ができるようなものがあるとよい ・会員拡大／予算をもう少し増やした方が良い ・お墓D／1級取得のための研修会が必要なのか。予算を使う必要はないのでは ・総会時　予算が赤字になっている現実を改め、黒字予算を。
11	金子、笠井、佐渡、堀口、伯井	・お墓D／　1級は受検費用を下げ、受検者を増やすにはどうしたらよいのか。1級は難関で何度も落ちるので、何回もチャレンジできる料金設定にしてほしい。 ・お墓D／ 会場を多くしてほしい。 ・女性／娘がどうしたら跡をとってくれるのか。跡取り娘の取り組みはとてもおもしろい。
12	＜輸入＞吉川、谷合、岡谷、望月、犬塚	・消費者に対するPRも必要。 ・「ソナエ」ちゃんと読まないとダメ。 ・お墓DとCSは収入あるが、広報はない。 ・広報／費用対効果をどうとらえるか。 ・アンケートの重要性、取った後の扱い方。
13	玉田、白木、戸高、高橋、寺岡	・内容が充実している。 ・継続事業も充実している。ますますがんばってほいい。

	メンバー	第3回理事会 **協議（1）-3【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／部会**
1	射場、米本、佐野、榎本、天野展和	・地方で部会を開催するときは地元支部に声かけてほしい。懇親会だけでも一緒に。 ・産地証明　どうやって使えばよいかを告知してほしい。→仕入れる会社が用意するが周知はした方が良い ・石産協に入っていない採石業者の石材も発行してほしい。 ・墓石部会／部会内で主に手伝ってくれるスタッフを作った方が良い。
2	三上、柴田、川口、阿部	・各部会の事業を情報共有、周知が必要
3	小柴、能島、井口、竹ノ内、北原	・加工部会／加工講習会参加したいが近場で開催してほしい。父親の見よう見まねで作業しているが不安。 ・加工部会／加工講習会は個人のためのものなので参加費は当然個人負担。 ・関連部会／出張メシは楽しいので他の部会でも考えてみては。 ・墓石部会／施工講習会を開催してほしい。講師は会員外でも、施工協会から招いても。
4	中村、天野喜晴、兼子、小田、小松	・加工部会／加工講習会は良い事業だと思う。 ・墓石部会／活動が充実している。 ・部会会議・事業を地方開催にしてみては。 ・業益を一番考えて活動できるので頑張ってほしい。 ・部会長のマンパワーで動いているので組織づくりが大変→どう改善していくか。 ・全国規模のスケールメリットを活かし、アンケート調査などによって意見を集約し、部会活動にいかしてみては。
5	＜採石・加工＞友常、鶴田、小野、斎藤、大川	・加工部会／加工講習会の予算 ①イベントに合わせて集客アップ ②2回開催を1階に集約 ③支部、地区ごとに開催
6	森田、中川、山本、藪本、大曲	・十分にされていると思います。 ・産地証明書の必要性を感じない。 ・遠方からイベントに参加しずらい。
7	＜関連・建築＞棚瀬、大塚、吉野、川本、寺田	・加工部会／加工講習会　良い内容はアナウンスできている。協会からの援助必要。 ・他部会との交流 ・合同部会でやっては？
8	福川、加藤、笹川、木村、田尻	・活発な部会活動が行われている。 ・墓石部会／イベント、会合、講習を東京だけでなく各地でもやってほしい。
9	水野、大石、山田、平山、安部	・加工部会／加工講習会は会員向けサービスであり、業界内のスキルアップを目的としている。予算がつかないとはいかがなものか。 ・産地証明／非会員の産地が出てくる原石について発行できないのであれば一度とりやめてみてはどうか。実際お客さまから間違いなく国産材を納めていても「産地証明書はないの？」と聞かれたり不信がられたりする。
10	上野、藤井、西山、河田、前迫	・輸入／協会事業としておこなうことなのか。 ・墓石部会／消費者意識調査は協会として調査するなら石屋さんを勇気づけるような調査もしたらどうか。一般消費者のナマの声を聞く調査など。 ・予算的にはすべて問題ない。
11	金子、笠井、佐渡、堀口、伯井	・部会でやっていることを見ていきたい。 ・部会の行事を自分自身に活かしたい。 ・消費者に合わせた部会のやり方を実行したら、自社小売店に活かせるのではないか。 ・講習会などはレベルの高いものをお願いしたい。 ・部会の連携をしてほしい。
12	＜輸入＞吉川、谷合、岡谷、望月、犬塚	・事業削減すべき ・墓石・採石／使いすぎでは。 ・墓石部会／協会のメインなので多少使っても全然良いのでは。

メンバー	**第3回理事会** **協議（1）-3【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／部会**
13 玉田、白木、戸高、高橋、寺岡	・情報交換の場所としていい。 ・活動になってきている。 ・何をやっているのかもう少しアナウンスしてほしい。 ・理事会内での事業計画の時間をもう少しふやす。 ・部会開催が東京ばかりで参加が難しい。 ・部会長もみなさんはお話がうまい！

	メンバー	第3回理事会 **協議（1）-3【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／地区**
1	射場、米本、佐野、榎本、天野展和	・地区長→支部長→会員へ石産協の事業、理事会内容を伝えてほしい。 ・温度差あり、うまく伝わらないところには根気よくやっていく。良いやり方があれば教えてほしい。 →大阪、近畿はLINEグループあり。 ・LINEで発信して会員が興味があるものを支部長が説明する。 ・地区大会の日程調整してほしい。 ・全部は難しいので厳選して伝えたい。 ・石産協事業説明の場を設ける。 ・会員メリットになりそうなものを中心に伝えたらどうか。
2	三上、柴田、川口、阿部	・一支部一地区（北海道地区） ・タイムリーなテーマを取り上げる（地区大会）2年に一度 ・支部長→地区長に支部の要望
3	小柴、能島、井口、竹ノ内、北原	・地区会議開催するには動員が大変で苦労している。 ・（中身）魅力をよく考えると動員を図れる。 ・部会とジョイントするとよい。 ・昨年の高知はなぜ集客できたのか。
4	中村、天野喜晴、兼子、小田、小松	・地区支部の温度差の解消方法。やる気のある会員がいない、会議参加者がいない。 ・県組合と重複してしまい、活動しずらい。 ・災害があっても組合単位で動く。 ・支部会員は今後減少していく。 ・地区内で情報共有のため「支部長連絡会議」行うべき ・北陸地区はあらたに組織づくり（地区長の交代）をしないと地区内の会員がかわいそう。
5	＜採石・加工＞友常、鶴田、小野、斎藤、大川	・北関東・信越地区は茨城中心の活動 ・意外と地区活動をしていない。 ・北陸・信越地区／提出しない理由は？
6	森田、中川、山本、藪本、大曲	・地区でやるべきことがない。 ・地区会議ではなくもっと他の人とも交流できるようにした方が良い。 ・北海道の一地区一支部は意味がない（本来は地方で1支部、全体で地区）
7	＜関連・建築＞棚瀬、大塚、吉野、川本、寺田	
8	福川、加藤、笹川、木村、田尻	
9	水野、大石、山田、平山、安部	・九州地区は広いが常に福岡で集合していたが今回沖縄で支部長連絡会議を開催することになった（公平性） ・九州は各県会員数が少ないので行事を行うと負担が大きい。 ・理事会協議について、何についてテーブル協議をするのかをもう少し詳しく説明してほしい。
10	上野、藤井、西山、河田、前迫	・支部長の孤立を防ぐために支部長同士の交流は必要。会議など、集まることが重要。 ・九州・地区の連絡会議はしている。支部総会への出席の働きかけ。遠方だが、協会の定時総会に参加してもらうよう声掛け。 ・予算取らなくてやる方が自由にできるのでラク。地区大会を行う場合も、本部からの収入なしで考えている。 ・地区大会開催する理由が良くわかっていないのが現実。
11	金子、笠井、佐渡、堀口、伯井	・中国四国大会に集中。一人でも多くの参加を。 ・他地区を参考にしながら自県に役立てる。 ・地区のイベントは特に特に具体的なテーマをもって実行しなければいけない。集まりにくい。それを支部活性化に活かす。 ・東海地区の総会により区内の連携。 ・一人でも多く

	メンバー	**第3回理事会** **協議（1）-3【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について／地区**
12	＜輸入＞吉川、谷合、岡谷、望月、犬塚	・石産協の根幹、とくに問題ない。 ・会計担当が大変。 ・会費が支部によって違う。そろそろ統一してもいいのでは。 ・支部会費で石産協の発行物を買って総会で配布している。 ・全体の会費を値上げして支部に分配してもいいかも。 ・支部会費引落しを始めた。
13	玉田、白木、戸高、高橋、寺岡	・以前と比べて活発になっている。 ・参加者が固定してしまっている。 ・活動している地区としていない地区の差。

第3回理事会

協議（2）【公正競争規約】今後の進め方

1 見積書、仕様書、契約書に記載する項目について

記載する項目	見積書	仕様書	契約書
商品名	○	○	○
規格寸法	○	○	○
石種名	○	○	○
産地名	○	○	○
加工先名	国まで	国まで	○
加工仕様	簡単に	○	簡単に
施工仕様	○	○	○
支払条件	○	×	○
保証内容	○	×	○
アフターサービス	×	×	○
その他（記入）	納期・施工場所	納期・施工場所	

加工先、保証、アフターサービスは見積書・仕様書には要らない
加工仕様は図面に書けばいい、規格寸法が必要、相見積もりで難しい
有効期限と納期が必要

2 展示の場合の表示項目について

希望価格は必須、すべての表示は難しい、仕入が変化するので難しい
同じ項目で示す、共通にする
商品名・規格寸法、石種名・産地名・仕上げは必要、加工先・加工仕様は不要？
石の名前を自社で付けない、統一する
才数を表示する、寸尺をどうするか？

3 国内産の定義はどうでしょうか？

国産材・国内加工で良い
国産材・一部中国加工をどうするか
外国材を国内加工は？
国産材を中国加工は？明記すべき
加工証明書が必要

4 加工先の表示はどこまで、会社名まで必要でしょうか？

加工先は不要だが、個々で表示しても良い
すべて明瞭な表示が必要
お客様のご要望や必要に応じて表示すればよい
ハウスメーカー・自動車メーカーは下請けまで明示していない
本体と外柵で加工先が違う場合はどう表示するか？

5 施工の仕様はどこまで必要でしょうか？（基礎の深さ、配筋、コンクリート、金具、接着剤など）

①どのような基礎か
②有筋かどうか
③接着剤かセメントかは必要

6 保証書の内容について

必要だが、統一は難しい、地域や石種によって違う
産地証明書は産地が証明すればいい
加工証明書、どんなものか分からない
トレーサビリティは無理

7 別表について（当日資料で確認）

区分、和形、形も寸法も違う、洋型とデザイン墓石は被る
材料、海外石種が商社によって違う
仕上げ・文字はＯＫ